

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用害虫と使用方法】 ←この色の部分が2014年11月17日付けで変更になりました。

作物名「ミニトマト」「はつかだいこん」を削除。

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びアセフェートを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法		
きく	ヨトウムシ類、 ネキリムシ類、 ハモグリバエ類	6 g/m ²	発生初期	5回以内	株元散布		
	アブラムシ類、 アザミウマ類	3~6 g/m ²					
宿根スターチス	ヨトウムシ類、 コガネムシ類幼虫	6 g/m ²					
カーネーション	ヨトウムシ類、 コナガ	3~6 g/m ²					
	アブラムシ類、 アザミウマ類						
アリウム	ヨトウムシ類、 ネギコガ	6 g/m ²					
	アブラムシ類、 アザミウマ類	3~6 g/m ²					
花き類・観葉植物 (きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウムを除く)	ヨトウムシ類	6 g/m ²					
	アブラムシ類、 アザミウマ類	3~6 g/m ²					
芝	スジキリヨトウ、 シバツトガ	10 g/m ²				全面散布	
	タマナヤガ	5~10 g/m ²					
きゅうり、 なす	アブラムシ類、 アザミウマ類、 オンシツコナジラミ	3~6 g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時	1回	植溝散布又は 植穴処理		
トマト	アブラムシ類、 オンシツコナジラミ						
ピーマン	アブラムシ類	1株当たり2g	育苗期	本剤：1回 アセフェート：2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)	株元散布		
キャベツ	アブラムシ類	6 g/m ²					
はくさい	アオムシ、 コナガ、 ヨトウムシ、 アブラムシ類	3~6 g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時	1回	植穴処理		
	なばな	アブラムシ類	6 g/m ²				
ブロッコリー	アオムシ、 コナガ、 アブラムシ類	3~6 g/m ² (1株当たり1~2g)	定植時				
			は種時				
だいこん	アオムシ、 コナガ、 アブラムシ類	3~4 g/m ²	定植時			1回	株元散布
かぶ	アオムシ、 コナガ、 アブラムシ類	4 g/m ²	は種前				
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6 g/m ² (1株当たり1~2g)	収穫21日前まで			本剤：1回 アセフェート3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)	植溝散布
			植付時				
えだまめ	ハスモンヨトウ	3~6 g/m ²	収穫21日前まで			3回以内	生育期株元散布

●散布は一カ所に集中せず均一に散布してください。

●200g入、500g入のボトルは、容器を上下に軽く4~5回振りますと約1gの散布量になります。

【効果・薬害等の注意】

①土壌が極度に乾燥している時は使用しないでください(効果)。

- ③芝のスジキリヨトウ、シバツトガ及びタマナヤガの防除に使用する場合、散布後1㎡当り0.5～1.0Lの散水を行ってください（効果）。
- ⑤適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。
- ③散布中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。
- ④使用後の空容器は3回以上洗浄してから【200g、500gボトル入】、空袋は良くたたいて中身を完全に出してから【1kg袋入】処理してください。
- ⑤間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- ⑥ミツバチ及び蚕に影響がありますので注意して使用してください。

治療法：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効です（動物実験で報告）。

魚毒性：通常の使用方法では問題ありません。